

地域懇談会開催（7月4日～8月22日） 「市民の声を市政に」

合併後初の地域懇談会を市内中学校区別11会場で開催、延べ281人の市民が参加、都市基盤整備・財政状況・教育問題・環境問題・地域活性化等についての要望や提言などがありました。これからますます厳しい財政状況になることが予想されますが、皆様からのご意見が市政に反映されますよう、検討課題の解決に向けて今後も取り組んでいきます。寄せられたご意見の中から、その一部をご紹介します。



財政状況について

現在のうるま市の赤字額について

うるま市は、一般会計のほか、5つの特別会計と水道事業会計を有しています。平成17年度決算の実質収支額は、国保会計が十億九千六百万円余の赤字になっておりますが、一般会計などその他の会計では、いずれも黒字であります。

仮に財政再建団体に転落した場合の内容を市民に説明してください。

国の管理下におかれ、都市基盤の整備が制約されます。また、市民生活に欠くことのできない施設・設備の改修や整備についても計画的に実施できなくなるなど、行政サービスの著しい低下が予想されます。

下水道について

うるま市の下水道の整備について

うるま市の下水道事業は、流域関連公共下水道（具志川地区・勝連地区・与那城地区）と単独公共下水道（石川地区）それぞれの整備計画に基づいて整備を行っております。

流域関連においては、管渠敷設やマンホールポンプの設置等、石川地区においては、老朽化したポンプ場の改修及び石川終末処理場の増設工事を行っています。

現在の下水道事業認可は平成20年度までとなっており、今後うるま市全体の下水道整備計画を策定し、平成21年度以降認可区域の拡張及び事業期間の延長を行う予定であります。

平成18年3月末現在 下水道整備状況

	行政人口 ①	使用可能人口 ②	使用人口 ③	普及率 ②/①	水洗化率 ③/②
具志川地域	65,869	34,792	22,658	52.8%	65.1%
勝連地域	14,433	6,879	2,553	47.7%	37.1%
与那城地域	13,084	4,735	1,755	36.2%	37.1%
石川地域	23,019	22,159	21,695	96.3%	97.9%
合計	116,405	68,565	48,661	58.9%	71.0%

市税の徴収方法について

各自治会窓口で納税できないか。

ご質問の各自治会への徴収委託については、個人情報保護、徴収嘱託員の任命等いろいろの問題を抱えておりますので引き続き調査検討をしていきます。

なお、これまでの市税納付書では市役所、銀行、農協でしか納付ができませんでしたが、郵便局でも納付できるように関係機関と調整中であります。



増設工事が予定されている石川終末処理場